

# まんすりー 全旅連情報

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F  
TEL 03-3263-4428/FAX 03-3263-9789

発行日：令和5年7月10日

7・8月号 2023

(合併号)

Vol.320



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

- 第101回「全旅連全国大会inえひめ」を開催 ————— 1
- 令和5年度全旅連理事会・通常総会開催 ————— 3
- 全旅連全国大会前夜祭／省庁便り ————— 4

- 第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告 ————— 5
- 厚生労働大臣賞：長崎スカイホテル株式会社
- 全旅連会長賞：ryugon
- 全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス ————— 7
- 全旅連協定商社会名簿 ————— 8

## 第101回「全旅連全国大会inえひめ」を開催 大会テーマは「地方観光復活元年」。スローガンに6項目

### 宿泊業界を輝ける日本を代表する産業に 基幹産業として地域の活性化に注力



あいさつする大木愛媛県理事長  
(左)と井上会長

全旅連は6月14日、次なる100年に向けた第一歩となる「第101回全旅連 全国大会inえひめ」を松山市の愛媛県民文化会館で開催した。全国から組合員や関係者ら約900人が参集。大会テーマを「地方観光復活元年」とし、スローガンに地方と共に歩む観光立国の推進、情報伝達の迅速化の充実、経営力と生産性の向上、次世代を担う人材の育成、人に優しい地域の宿づくりの推進、自然災害や感染症に負けない宿づくりの6項目を掲げ、式典では「観光立国の推進に向け、1300年超の歴史を持つ宿文化を継承しつつ、観光産業の一翼を担うわれわれが常に前向きに、時に観光分野の雄として行動する」とした大会宣言と「地方と共に観光立国を推進しよう」といった11項目にわたる決議を採択した。

第101回全旅連全国大会実行委員長の大木正治愛媛県組合理事長の「『観光立国。日本』を全国の仲間と協働しながら、Reスタートさせる重要な節目の大会となった。これを機に全国の観光地が今まで以上に盛り上がっていくことを切に願っている。全国各地の皆さまが本大会を通して『元気』を持ち帰っていただきたい」の開会のあいさつに続き、全旅連の第11代目の会長となった井上善博会長があいさつし、「宿泊業の復活のために粉骨砕身頑張りたい。『観光再始動』に向けてやらなければならないことは山積しているが、一つ一つ着実に取り組んでいきたい」と意欲を見せた。



▲会場を埋めた組合員 ▶式典では井上会長より多田前会長、事務局職員の市川、清澤（当日は欠席）の各氏に対し、お礼のことばとともに感謝状が手渡された



祝辞を述べる  
高宮和田中  
村野志橋の  
各氏

25人の来賓は一人ひとり紹介された



緑化推進基金は愛媛の森林  
基金に贈呈された

来賓からは、加藤勝信厚生労働大臣代理の高宮祐介厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課長、和田浩一観光庁長官（当時）、中村時広愛媛県知事、野志克仁松山市長、橘慶一郎自由民主党団体総局長衆議院議員の各氏からの祝辞が行われた。

続いて、井上会長から公益財団法人愛媛の森林基金に緑化推進基金の贈呈が行われたあと、旅館業および組合活動に対し、功労・功績のあった組合員に感謝を込めた表彰が行われ、厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰、全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状、永年勤続表彰と第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」各受賞者に対し会場からは大きな拍手が送られた。

プログラムは進み、新たに新体制となった青年部からのあいさつのあと、式典では、「第101回全旅連全国大会」の大会宣言・決議の採択が行われ、森浦源泰徳島県組合相談役が読上げた「大会宣言」と、尾崎正明香川県組合副理事長が読上げた「決議」は、会場からの大き

旅館業及び組合活動での功労・功績者を表彰



3賞の各賞を代表して受賞する金南賢（北海道）、倉田義巳（神奈川県）、小谷文夫（鳥取県）の各氏

「人に優しい」賞表彰



厚生労働大臣賞の長崎スカイホテル株式会社、全旅連会長賞の新潟県りゅうごん、選考委員受賞の新潟県の松之山温泉組合、観光経済新聞社社長賞の石川県和倉温泉旅館協同組合



式典の各プログラムを務める塚島、森浦、尾崎、藤本、多田の各氏



万歳三唱は力強く行われた

な賛同の拍手をもって採択された。続いて、次年度の全国大会開催地となる北海道組合のみなさんがステージに登壇。西海正博理事長のあいさつのあと、全員が手を振って「サッポロでお会いしましょう」と声を揃えた。そして、式典はクライマックスを迎え、大会を祝しての「万歳三唱」は藤本正孝高知県組合理事長の発声で力強く行われた。

式典のプログラムも結びとなり、多田計介前会長が「6年という長きにわたった会長職はみなさんの支援と協力があってなし得たことです。こうした体制はこれからも続くことを確信しています」の言葉を添え、「第101回全旅連全国大会 in えひめ」での式典は大きな力と励ましを与えながら、大きな拍手のなか成功裏に幕を閉じた。

市民講座記念公演のテーマは「四国遍路とやさしい心」



全国大会では市民講座記念公演も行われた。弘法大師御誕生1250年記念を迎える本年、改めて先人の智慧に触れることで「やさしさ」とはなにか？についてゲストに語ってもらった。コロナ禍で薄れてしまった人と人との繋がりをもう一度意識し、心をやして欲しいと実施した。テーマは「四国遍路とやさしい心」。作家で僧侶の家田荘子氏＝写真＝は「実はお接待っていうのは優しさを差し上げる、思いやりを差し上げることなんです」と語る。また石鐘神社宮司の武智正人さんとの対談では神道と仏教それぞれの観点から、よりよく生きるための心構えなどを説いた。市民や組合関係者ら約250人が話に聞き入っていた

大懇親会は「四国DE集い」から「ブロック別懇親会」へ



全国大会の式典は世界で活動する尺八奏者の橋本岳人山さんの演奏から始まった。そして懇親会の道後検校の皆さんによる伝統芸が会場を包んだ。四国DE集いでは「地酒で乾杯条例」とSAKE文化の保存や新興に從った5人の女将さんたちII写真左IIによる「地酒での乾杯」で始まった

松山由来の酒席芸には組合員の飛び入りも

# 令和5年度全旅連理事会・通常総会開催 理事会では総会上程議案の事業計画案等を審議

井上会長スタート、代行は西海氏が再任  
副会長に新たに木村、土田、利光、有本の各氏が就任



あいさつする井上会長と感謝状と記念品を贈られた多田前会長

全旅連は6月13日、令和5年度全旅連理事会と通常総会を愛媛県今治市の「今治国際ホテル」で開催し、令和5年度事業計画案並びに収支予算案など全議案を全員異議なく承認可決した。

理事会では、議事となった通常総会提出議案である令和4年度事業報告では、組合員の喫緊の課題解決に向け取り組んだ各委員会からの報告も行われ、政策委員会(委員長:小関吉左衛門)、ポストコロナ調査研究委員会(委員長:大木正治)、経営基盤調査研究委員会(委員長:山本清蔵)、人材不足対策・職場環境改善対策委員会(委員長:石田浩二)、シルバースター部会(部会長:渡邊幾雄)、情報デジタル化推進委員会(委員長:井上善博)、そして、全旅連青年部(前部長:星永重)、全旅連女性経営者の会(前会長:小林佳子)の事業報告が承認された。

また、報告事項では佐藤山形県理事長が山形県組合で発刊した「コロナ対策のあゆみ」について説明。これは、コロナ禍の影響で経済活動も思うようにできない状態の中で、県内エリア内での「県民泊まってキャンペーン」等の宿泊プランの提案や国や県への要望活動等をもって、組合としてどのようにしてこの困難を乗り越えてきたかを時系列で記した冊子で、もしもの場合にいかに対処するかを伝えるものとなっている。

続いて行われた令和5年度通常総会では、【令和4年度事業報告並びに収支決算報告及び監査報告】、【任期満了に伴う役員改選】、【令和5年度会費賦課金案】(コロナ前の算定基準に戻る)、【令和5年度事業計画案並びに収支予算案】、【令和5年度全国大会(愛媛県)の開催】(緑化推進基金贈呈案=基金名:緑化推進基金、贈呈先:公益財団法人愛媛の森林基金、贈呈額:50万円)、【令和6年度全国大会開催地案】(開催地:北海道札幌市、大会会場:札幌パークホテル、開催日:令和6年6月19日)の各議案を承認した。

承認された令和5年度の役員人事は、会長代行の西海正博、常任理事の松山純大、鈴木治彦の両氏、専務理事の亀岡勇紀氏は全旅連会長指名役員。4人の副会長に代わって新たに木村圭仁朗(三重県理事長)、土田耕一(福井県理事長)、利光伸彦(和歌山県



今治市の今治国際ホテルで開催された令和5年度全旅連理事会と通常総会



事業報告を行う小関、大木、山本、石田、渡邊、井上、小林の各氏

冊子について説明する佐藤理事長、会長指名の亀岡専務理事、事務局長に就任した竹村氏



監事の皆さんと新副会長となった左から有本、利光、土田、木村の各氏

理事長)有本隆哉(広島県理事長)の各氏が副会長を務めるほか、令和5年度常任顧問には新たに北原茂樹、多田計介の両氏、令和5年度相談役には新たに野澤幸司、宮川力、山本清蔵、森浦源泰、清澤正人の各氏が就任。また、令和5年度全旅連本部事務局については専務理事に亀岡勇紀、事務局長に竹村奉文氏が就任し新体制となった。

事業計画では、全旅連専門委員会の令和5・6年度活動内容も承認された。委員会は観光立国推進委員会、情報・新価値創造委員会、金融対策・経営改善委員会、次世代人材育成委員会、シルバースター部会(厚生・バリアフリー委員会)の5委員会。

【その他】では、第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」の受賞者、新潟、宮崎、静岡の大雨・台風被害への災害見舞金、シルバースターの登録状況、NHK受信料組合取りまとめ支払加率、全旅連協定商社会取扱商品一覧等の資料についての報告が行われた。

また総会では、秋田県の堀田理事長がパートで働く労働者などは年収が130万円を超えると社会保険料の負担が生じるため、働き控え、さらには人手不足に繋がっている問題に触れ、「予算委員会では自民党の議員が所得が減らないよう時限的な給付金の支給を提案しているが、この問題は一向に進展をみていないままだ。全旅連としてもこの問題に対処した活動を進めてもらいたい。また、LGBTとトイレ・入浴場の問題についても統一的基準を設けるなど対応策を示してもらいたい」との発言があった。

通常総会終了後は全国旅館ホテル事業協同組合第23回通常総代会と全旅連事業サービス株式会社第18回定時株主総会が行われ、いずれも全議案が原案通り承認可決された。

## 通常総会終了後同ホテルで前夜祭を開催 「地方観光復活元年」の全国大会へ結束

徳永今治市長が観光産業への熱き思いを語る  
「連携を更に深め益々の発展を」のエールも



▲あいさつする大木理事長、井上会長、徳永市長 ▶徐氏に感謝状贈呈

今治国際ホテルで行われた前夜祭は、徳永繁樹今治市長が観光業に熱い思いを込めながら、全旅連に対し大きな期待を寄せ、また、地元選出の山本順三参議院議員からの「会員相互の連携をさらに深め、業界の発展のみならず地域経済・文化の発展に貢献していただきたい」とした祝電の披露もあり、前夜祭の参加者は改めて翌日に控える全国大会への意気込みを胸に収めての前夜祭となった。はじめに表彰も行われ、来賓の中華民国観光産業国際行鎖協合理事長の徐銀樹氏に多田前会長から感謝状が贈呈された。



肩の上に人を乗せ、頂点に立つのは子どもも。会場を魅了した今治の「継ぎ獅子」

## 省庁便り

## 観光庁

### 「平日にもう一泊」キャンペーンがさらに充実

観光庁では、日本観光振興協会と連携して、昨年10月より、「平日にもう1泊」キャンペーンを通じた国内観光需要の喚起・平準化の取組を行ってきたところです。

今後は、平日の旅行需要の一層の喚起を行うため、「平日にもう1泊」キャンペーンの特設サイトの更なる充実を図るほか、新たにInstagramアカウントを開設して、SNSを通じた地域や事業者の平日旅行PRの一元的な情報発信を行ってまいります。

今後、官民一体となって、平日の旅行需要の一層の喚起を図るため、平日旅行の促進に向けて観光事業者皆様のご協力をお願いいたします。

(参考)

特設サイト：<https://onemore.nihon-kankou.or.jp>

Instagram：[https://www.instagram.com/onemore\\_weekday](https://www.instagram.com/onemore_weekday)

P R 動画：<https://youtu.be/I-ByJNwuItE>



「平日にもう一泊」キャンペーンPR画像

HP等に画像、動画を掲出の場合、ご所望のデータを下記アドレスまでメールでご連絡ください。

※期間：令和5年6月28日(水)～本キャンペーン終了(令和5年度末予定)まで上記の範囲内において、任意に掲出を終了していただいて構いません。

※データ：動画(30秒/15秒)、ポスター(B1/B3)

※ご連絡先：[hqt-onemore-weekday@gxb.mlit.go.jp](mailto:hqt-onemore-weekday@gxb.mlit.go.jp)

【問合せ先】

観光庁 外客受入参事官室  
03-5253-8972(直通)

公益社団法人 日本観光振興協会 総務・渉外部門  
03-6435-8331



## 第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

厚生労働大臣賞：長崎スカイホテル株式会社（長崎県長崎市）

視察対象事業：ホテルで暮らしながら「自立を目指す」障がい者の拠り所、地域の受け皿としてホテルの新しい在り方。

長崎スカイホテル株式会社の宿泊施設は、稲佐山の中腹に並び建つ長崎スカイホテル（H元年開業）と長崎ブルースカイホテル（H5年開業）、立山の中腹にあるホテル長崎（H18年開業）の3箇所。何れもJR長崎駅より車で10分程度とアクセスが良く、長崎の絶景が望める。

加えて、ホテル内に併設される通所介護事業所（デイサービス施設）2か所（H16年及びH24年開業）、障がい者就労支援B型施設2か所（R元年とR5年開業）、宿泊型自立訓練施設（R4年開業）と障がい者自立準備施設（R5年開業）がある。さらに、同一敷地内に設置される保育園（R元年開業）と、宿泊事業に加え社会福祉法人にも引けを取らない充実した福祉事業を営む地元企業である。

同社はレストラン等、長崎市内で飲食業を手広く営む塚島博司氏（代表取締役社長）が平成元年に新規事業としてホテルを開業。その後、長男の塚島宏明氏（取締役副社長H15年入社）と次男（H16年入社）の2人のご子息が入社。宿泊事業に加えて飲食事業での豊富な経験を活かし、通所介護事業所を皮切りに福祉事業分野に進出し着実に業容を拡大してきた。

雰囲気、介護食等、非日常が楽しめるホテル内のデイサービス施設。業務用大型洗濯機、乾燥機を保有し、自社のリネン・クリーニングはもとより、他社からの外部需要にも対応する障がい者就労支援継続事業B型施設。働き方に柔軟に対応する保育サービスを提供し、従業員の雇用・定着に貢献する企業主導型保育園と、宿泊事業と福祉事業は主従の隔たり無く相乗効果を享受する。

これらに対して、昨年より着手する宿泊型自立訓練施設（定員20名）と、本年度より認可を受けた障がい者自

立準備施設（定員6名）は、既存事業との相乗効果は大きく期待できない。従来の福祉事業とは状況を異にする。さらに、長崎スカイホテルの多くの客室と大広間を改装し、施設専用の居室26室を準備する身を切る対応もしてきた。この施設利用者は知的や精神障がい者。家事や生活訓練をうけ、退所後は一人暮らしやグループホームにて、より自立した生活を目指している。

利用期間は前者で2年。現在、入所17名中8名が同所から市内の勤務地まで通勤する。後者の施設は、利用期間は無期限で入所者は6名。福祉事業でも難易度が高いとされる自立訓練施設や自立準備施設に着手した背景には、社会問題化する長期引籠り者や長期入院を続ける精神障がい者の増加がある。長崎市には同種の施設が1件のみと少なく、行政からの要請も有り商売を超越した福祉事業者としての矜持と地元愛が感じられる。

塚島兄弟は入社以来、法人営業にも注力してきたことから、スカイホテルとブルースカイホテルは団体客が中心。修学旅行や社員旅行はもとより、機動隊等の公務に伴う団体宿泊需要に至るまで様々なニーズに対応してきた。また、福祉事業を兼業することから、高齢者や障がい者も安心して安全に宿泊できるホテルとして、特別養護支援学校の修学旅行まで全国から様々な宿泊者が訪れる。

将来的にはリネン工場の開設や非居住地で介護サービスが受けられるデイサービス事業など、新たな事業を模索する。「ホテル経営の施設」として、「施設経営のホテル」として、一般旅行者のみならず、地元の人にも、障がいを持たれた人にも、安心・安全・活力を提供する長崎の企業として更なる飛躍を期待したい。



ホテル内でのデイサービスの様子



調理ができる共用スペース



ホテル内でのリネンクリーニング



平塚選考委員（右）、塚島副社長（左）にヒアリング



塚島宏明取締役副社長



企業主導型保育園も運営

視察日：令和5年5月19日（金）

視察者：選考委員 平塚良成（特定非営利活動法人医療事業再生機構理事長）



# 第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

## 全旅連会長賞: ryugon (新潟県南魚沼市)

視察対象事業:「場としごと」を共有することで始まる新たな旅の需要創出事業

「帰る旅」というイノベーション

相変わらず深慮遠謀の人だ。コンセプトであり、イノベーター。井口社長にお会いする度にそんな印象を抱く。1時間ほどのインタビュー中、彼の口から「ハーモニー」という言葉が何度も出た。「さかとケ」の取り組みは一見、宿泊の対価としての労働、皿洗いすればタダで泊めてあげるよ、というような単純(お金の代わりに仕事)な取引関係と捉えられてしまいがちだ。しかし、彼の構想はそんな浅薄な話ではない。これは新しい旅の提案であり、宿と来訪者の新しい関係性の創造、パートナーシップの構築なのだと言う。「ハーモニー」という言葉にはそんな想いが込められているのだ。

従来の旅における宿と来訪者は金銭を媒介とし、「もてなす側」と「もてなされる側」に分けられ、対する関係に配置される。もてなされる側は「お客様」扱いを期待し、そこにはややよそよそしさが漂う。一方、「さかとケ」が提唱する新しい旅(「帰る旅」と呼んでいる)では、来訪者は宿の仕事を手伝うというプロセスを経ることで、客ではなく、その場に貢献し、場をともに創る「仲間」となる。宿と来訪者は同じ方向を向いて「ハーモニー」を奏でる関係になる。この新しい旅の形、井口社長いわく、良いことづくめなのだ。

来訪者の視点から言えば、「お客様」という「よそ者」扱いから一転、旅先で自身の貢献感を満たすとともに、「仲間」が待っている、いつでも帰れる自分の「居場所」が確保できる。誰かとスケジュールを合わせることもない。思い立ったら仲間の待つ場所へ一人でもすぐに行けるのだ。また、「宿の仕事」を体験出来るというのもいい。旅先で、お金を払って蕎麦打ちや陶芸体験をやることを考えれば、より特別感のあるアクティビティとして、旅の記憶にインパクトを残すに違いない。

一方、宿の視点では大きく2つの利点が挙げられる。1つは生涯顧客獲得によるプロモーションコストの削減だ。従来の旅では、顧客とは一期一会であって、良いサービスをして満足度を高めてもリピーター化する確率は低い。かかり続ける新規顧客獲得のためのプロモーションコストはバカにならない。しかし、帰る旅では一度、居場所として認知してもらえれば、繰り返し利用してくれる可能性は高い。旅先が故郷になり、ことあるごとに帰ってきてくれる。「さかとケ」でできた関係性は収入や家族構成など人生のステージが変わることで、ハイブランドの ryugon の宿泊につながることも期待できる。

友人、知人に故郷自慢もしてくれることだろう。宿泊無料はインフルエンサー育成コストとも言えるのだ。

もう1つは、地方(地域)の足りないリソース(人材)の補完。人手不足に悩む宿の働き手としての活用はもちろん、様々な専門スキル(たとえばIT)の調達にも役立っているとのこと。仲間として貢献したいと考えている人たちなので、通常の市場価格では考えられないような報酬で、専門的なスキルを惜しげも無く提供してくれることもある。まだまだ事例は少ないが、今後、地域の人材不足解消の切り札になるのではないかと考えているとのこと。

難しさもある。従来型の旅を望むお客様もいらっしゃる(こちらが大半)中で、異なったオペレーションを走らせることは効率の面から考えると得策ではない。また、純然たる「客」でもなく、単純な「働き手」でもない来訪者とのコミュニケーションは決して簡単ではない。しかし、ITを活用する(様々な案内はすべて動画でわかりやすく解説)ことで、スタッフの負担を極力なくしたり、教育(コンセプトやビジョンの浸透)によって、スタッフのスキル向上を図っている。何より、新しいチャレンジをすることで、スタッフの創意工夫を引き出し、企業として、宿として進化・成長しようとしているのだ。

今回、「人に優しい地域の宿づくり賞」へのエントリーは、自身の取り組みを全国の仲間知ってもらい追隨者がどんどん出てくることを期待しているものだという。自分の宿、地域だけが良ければいい、などという狭い料簡でやっているわけではない。この新しい旅の形が津々浦々に浸透し、コロナ後の観光、地域を支える特効薬になると本気で信じているのだ。

すでに二の矢、三の矢の用意もあるという。野望は尽きない。



▲取り組みを説明する井口智裕社長(右)



▲井口社長から「さかとケ」の説明を受ける村橋委員



▲「ryugon」全景



▲市内飲食店の情報を参加者同士で共有できる掲示板



▲「さかとケ」掲示板を視察する村橋委員

視察日: 令和5年5月26日(金)

視察者: 選考委員 村橋克則(大正大学社会共生学部公共政策学科教授)

# 全旅連会議開催

【6月】

13日(火)

- 令和5年度全旅連理事会
- 令和5年度全旅連通常総会
- 全国旅館ホテル事業協同組合第23回通常総代会  
於：今治国際ホテル(愛媛県今治市)

14日(水)

- 第101回全旅連全国大会 in えひめ  
於：愛媛県県民文化会館(愛媛県松山市)

15日(木)

- 全旅連青年部常任理事会  
於：ホテル古湧園 遥(愛媛県松山市道後温泉)

29日(木)

- 令和5年度全旅連シルバースター部会総代会  
於：砂防会館(東京都千代田区)
- 全旅連常任理事・委員長会議

今後の予定

9月25日(月)・26日(火)・27日(水)

- 第14回スパ&ウェルネス ジャパン2023(全旅連協賛)  
主 催：インフォーママーケティングジャパン株式会社  
於：東京ビッグサイト西ホール(東京都江東区)  
セミナー(9月27日(水))  
テーマ：「温泉のある宿の価値とは～人生100年時代にむけて(仮題)」  
パネルディスカッションに渡邊シルバースター部会長、近藤常任委員が出演予定

次号9月号の発行は9月1日となります。

※本号は、7・8月合併号です。  
8月1日の発行はありません。

## 経営ワンポイントアドバイス

### 「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

#### 「アニマルスピリット」

アニマルスピリットとはイギリスの経済学者であるジョン・メイナード・ケインズが「雇用・利子および貨幣の一般理論(1936年)」の中で述べた有名な言葉だ。

経済活動は合理的動機に基づいて行われるが、一方で将来の収益を期待して事業を拡大しようとする、必ずしも合理的には説明できない不確定な心理を「アニマルスピリット」としている。

このアニマルスピリットを現代の経営に活かすことはできるのか。

- ①心理的な要素の理解：経済活動は個人や企業の意味決定によって形成されるのでそれらの心理的要素が大きく影響する。アニマルスピリットは恐怖、期待、自信、欲望などの感情によって形成されることを理解し、経済主体の心理状態を把握することが重要ではないか。
  - ②消費者の心理：経営者は市場の需要や消費者の心理状態を分析し、商品やサービスの提供方法やマーケティング戦略を調整することが求められる。消費者の欲望や期待に合わせた魅力的な提案を行うことが重要だ。
  - ③投資意欲の喚起：経営者は投資を促進するために、リスクを軽減するための政策や安定した経済環境の提供、将来の収益性や成長の見込みを示す情報の提供などを行う必要がある。
  - ④リーダーシップと信頼の構築：経済主体の心理はリーダーの行動やメッセージによっても大きく影響を受ける。経営者はリーダーシップを発揮し、組織内外に対して安定感や信頼を醸成することが重要だ。また、透明性や誠実さを持って意思決定を行い、ステークホルダーの信頼を築くことも忘れてはならない。
  - ⑤政策の適切な調整：アニマルスピリットの影響は単一の企業や個人だけでなく、経済全体に及ぶ。当たり前だが、政府や規制当局は、経済主体の心理やアニマルスピリットを考慮に入れながら、適切な経済政策や規制環境を整備することが求められる。
- 90年前の理論にも学ぶことが沢山あることに改めて気づかされた次第。死ぬまで勉強ですね。

質問・相談は  
sero-1117@giga.ocn.ne.jp 携帯(090-3322-7208)  
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

## 腸内細菌検査、ノロウイルス検査 旅館・ホテル組合員特別価格のご案内

	腸内細菌検査(検便)	ノロウイルス検査
検査項目・方法	サルモネラ菌、腸チフス菌、パラチフスA菌、赤痢菌、腸管出血性大腸菌O-157	RT-PCR法による遺伝子増幅法検査
報告日数	3～5営業日	1～3営業日
料 金	※組合員特別価格 300円/1検体(税別)	※組合員特別価格 検査料金 2,950円/1検体(税別) 検査容器代 50円/1検体(税別)
備 考	検体送料は、定期的実施分は弊社で負担いたします。追加実施分は、お客様で負担願います。	検体送料は、お客様で負担願います。(宅配便クール冷蔵指定)

検査申込書ダウンロード 全旅連公式HP「宿ネット」組合員専用ページ  
<http://www.yadonet.ne.jp/info/member/>

お 申 込 ・  
お 問 合 せ JFE東日本ジーエス株式会社 食品衛生調査センター  
TEL:044-328-2788 FAX:044-333-1655  
<http://www.eisei-chosa.com/>

## 安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。年々、高齢者人口が増加し、高齢者の宿泊施設へのニーズが高まることは当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。

シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで全国の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。  
◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



### 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階  
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL: <http://www.yadonet.ne.jp/>

全旅連協定商社会 名簿

協 賛	ソニー生命保険 (株)	生命保険コンサルティング 他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213	
	あいおいニッセイ同和損害保険 (株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 マーケット開発部 市場開発室 谷 賢治	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449	
	(株) 丸八真綿	丸八真綿寝具販売他	〒465-0045 愛知県名古屋市中東区姫若町25 第一営業部 玉木信安	TEL 052-701-3386 FAX 052-703-1424	
	(株) リクルート	旅行雑誌「じゃらん」 「じゃらん.net」等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 営業推進部 営業企画グループ 酒井宏明	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784	
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種 浴場等の各種再生	〒414-0013 静岡県伊東市桜木町2-2-19 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557	
	ミサワホーム (株)	旅館ホテル客室等のリフォーム 新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業部 法人推進課 五十嵐忠勝	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668	
	(株) 第一興商	カラオケ機器 (DAM) 音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862	
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-49-7 池袋パークビル5F 営業本部 法人営業部 法人企画管理室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996	
	東京海上日動火災保険 (株)	旅館賠償責任保険	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアWEST9F 航空宇宙・旅行産業部 旅行営業室 副主任 田中早映子	TEL 03-6250-6022	
	AIG 損害保険 (株)	組合員向各種損害保険	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル6F ディストリビューション部門 大平美菜子	TEL 03-6848-8835 FAX 03-6689-2025	
	楽天グループ (株)	予約サイト「楽天トラベル」等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 ホテル旅館コンサルティング部 ジェネラルマネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253	
	(株) 宿研	web集客コンサルティング	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 取締役 坂本真士	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507	
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システム TL-リンカーン	〒108-0023 東京都港区芝浦3-12-7 住友不動産田町ビル4F システムソリューション本部 営業G 宮崎恵利香	TEL 03-6835-8420 FAX 03-6772-1002	
	(株) JTB (るるぶトラベル)	宿泊予約サイト るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル7F 国内仕入戦略部 松村高太郎	TEL 03-5796-5816 FAX 03-5796-5254	
	ヤフー (株)	「Yahoo!トラベル」による 集客支援提案	〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワ トラベル統括本部 営業部 小林孝志	TEL 03-6898-2393 FAX 03-6685-0800	
	(株) ネクシィーズ	LED照明、業務用冷蔵庫、空調な どの省エネ素材のレンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシィーズスクエアビル 業務本部 営業企画課 佐々木 龍	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307	
	(株) Trip.com International Travel Japan	中国インバウンド予約サイト 「Ctrip」	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4 TOKYO TORCH常盤橋タワー24階 ホテル事業部 翟 峰 (サイ ホウ)	TEL 03-6373-0811 FAX 03-6262-7667	
	日本テクノ (株)	高圧電気設備保安管理・点検 電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51F 営業推進部 MC・営業課 課長 佐藤宏司	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379	
	(株) パラダイムシフト	オールインワン業務支援ソフト 「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 足利智和	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971	
	(株) アビリブ	HP制作、web集客 自社HP予約エンジン「予約ProX」	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-35-3 コープオリンピア7F 取締役副社長 水野 真寿	TEL 03-6712-6018 FAX 03-6712-6019	
	住友林業 (株)	旅館・ホテルリフォーム 新築、造園	〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 海外住宅・建築・不動産事業本部 出口 俊	TEL 03-3214-3860 FAX 03-3214-3861	
	(株) ミツウロコヴェッセル	高圧電気、動力 (低圧) 電 気、従量電灯電気の販売	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 電力・都市ガス営業部 課長 石井万正	TEL 03-3275-6316 FAX 03-3275-6354	
	(株) かんざし	OTAプラン作成等一括管理「かんざしクラウド」 OTAくちこみ一括管理「くちこみクラウド」	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 丸元ビル 3F セールス本部 宿泊セールスチーム チーフマネージャー 神山真一郎	TEL 03-6261-7447 FAX 03-6261-7448	
	(株) 三洋	寝具 (掛け布団・マットレス) のレンタル	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-10 ORIX恵比寿西ビル3F コンフォートグリーン事業部 営業主任 山本宜央	TEL 03-5459-2330 FAX 03-5459-2340	
	(株) ショウエイ	浴場用ろ過装置と省エネシ ステムおよび見える化	〒212-0032 神奈川県川崎市幸区新川崎2-6 営業1課 課長 長谷川秀法	TEL 044-589-1601 FAX 044-589-1602	
	大建工業 (株)	機械すきと紙材の量	〒101-8950 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 国内製造企画部 得永昭弘	TEL 080-2674-9614 FAX 03-5296-4047	
	HRソリューションズ (株)	旅館ホテル専用人情情報掲載サイト 「旅館ホテルでおしごと.net」	〒103-0023 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング10F 顧客価値創造本部 カスタマーサクセス推進部 中尾佳照	TEL 03-3548-8212 FAX 03-3548-8864	
	(株) ダイブ	人材サービス「リゾートバイトダイブ」 「宿泊業界のための外国人求人ナビ」	〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-12 玉屋ビル2F 外国人人材サービスユニット ジェネラルマネージャー 菅沼 基	TEL 03-5657-3030 FAX 03-5657-3031	
	(株) クリップス	Web予約サイトコントローラー「なっばん+」 Web販売支援サービス	〒950-0915 新潟県新潟市中央区鏡石2-29-15 ビュアコートベル3F WEBサポート事業部 金子 悟	TEL 025-290-5540 FAX 025-241-7836	
	(株) ASK	スカパー!法人向有料放送契約 およびIPによる外国語放送の契約	〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-8-5 NXビル4F 営業部 主任 成田篤志	TEL 042-523-4649 FAX 050-3728-5505	
	(株) ピアトゥー	公式サイト検索予約「STAY NAVI」 スマートフォンを利用したチェッ クイン、チェックアウトサービス	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館20F 営業推進室 宮本史彦	TEL 03-6275-1075	
	ジャパンエレベーターサービス ホールディングス (株)	エレベーター・エスカレーター・他 昇降機の保守管理、更新工事	〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル5F 営業本部 第一営業部 部長 伊藤秀男	TEL 03-6262-1616 FAX 03-6262-1617	
	(株) QFPay Japan	キャッシュレス決済システム インバウンドを中心としたプロ モーションサービス	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門一丁目ビル11F 取締役 杉 泰宣	TEL 03-5276-6601	
	(株) お宿ポータル	SNS集客、デジタル化の 提案等	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館2F 代表取締役 野井裕司	TEL 03-6823-2455 FAX 03-4243-3273	
	tripla (株)	自社HP予約システム「tripla Book」 AIチャットボット「tripla Bot」等	〒104-0033 東京都中央区新川1-22-13 新川&Lビル6階 マーケティンググループ マネージャー 栗原 勉	TEL 03-6276-6553 FAX 03-4243-3806	
	(株) タカショーデジテック	屋外ライティング、 イルミネーションの提案	〒150-0011 東京都渋谷区東3-14-16 KHOビル ライティングイルミネーショングループ マネージャー 橋本章夫	TEL 03-5244-5966	
	鉄道情報システム (株)	サイトコントローラー 「らく通With」等	〒185-8510 東京都国分寺市光町1-47-4 ネットワークシステム部 らく通営業グループ 谷口将太	TEL 042-576-0997 FAX 042-573-3740	
	推 奨	三菱電機ビルソリューションズ (株)	エレベーター設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 首都圏第一支社 業務部 参事 正村宗一郎	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
		(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒141-0031 東京都品川区西五反田3-7-10 アーバンネット五反田ビル1F 営業本部 法人営業部 法人営業ユニット 鈴木哲治	TEL 03-5719-2017 FAX 03-5719-6859
		(株) エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン 「OPTIMA」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2丸耀ビル3F 吉野直樹	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071